

新技術活用促進セミナーを開催 ～現場で使った新技術15選～

「建設技術展2018近畿」において、新技術活用促進を目的として、活用効果や機能が優れている新技術について、技術開発者より技術の紹介を行いました。発表技術は、平成28、29年度に「有用な技術」と評価された技術の中から業団体の推薦で選ばれた15技術です。会場は、立ち見が出るなど盛況で、約300人の参加がありました。



建山委員長挨拶

【開催日時・場所】

平成30年10月25日(木) 9:30~12:00
マイドームおおさか 橋梁模型会場(2F)

【技術選定】

新技術活用促進セミナー技術選定委員会
(学・産(建設業界7団体)・官の委員で構成)
委員長 立命館大学 建山教授

【主催】

近畿地方整備局

◆発表技術一覧◆

- ①次世代足場Iqシステム(足場工)
- ②3Dレーザースキャナーによる現況地形確認システム(測量)
- ③マルチ発電機[DGMシリーズ](電気設備)
- ④WILL工法(スラリー揺動攪拌工)(軟弱地盤処理工)
- ⑤パネル式システム吊り足場「セーフティSKパネル」(足場工)
- ⑥調査用リモコンポートによる深淺測量(音響測深)(測量)
- ⑦メタルキラー(電気設備)
- ⑧つばさ杭(開端タイプ)(鋼管・既製コンクリート杭打設工)
- ⑨先行床施工式フロア型システム吊足場(クイックデッキ)(足場工)
- ⑩簡易支持力試験機エレフト
(地盤の平板載荷試験の補完試験機)(調査試験)
- ⑪インテリジェントマシンコントロールブルドーザ(土工)
- ⑫遮熱養生工法(コンクリート工養生)
- ⑬道路空間の高精度3次元図化システム(測量)
- ⑭鋼構造物溶接止端部の疲労強度向上工法(鋼橋製作工)
- ⑮OPTジェット工法(軟弱地盤処理工)